

障がいのある人の雇用に取り組む

# 角井食品 株式会社

(宇治市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】 サンドイッチ、米飯類等の製造販売

【障がいのある人の主な仕事】 調理補助、盛付け、清掃など



## 【障がい者雇用の経緯】

40 年位前の人員不足で悩んでいた頃、知り合いの紹介で障がいのある人を雇用したのが始まりです。現在、知的障がいのある人が5名が働いています。

特別支援学校を卒業後 10 年から 30 年のベテランばかりです。全員週 30 時間以上勤務の人で、「はあとふる社員」と位置づけています。仕事は、調理補助、盛付け、清掃など全員違います。

## 【年齢に合った仕事づくりと障がい者雇用の課題】

長く働き年を重ねていくと、得手不得手が変化してきます。本人の特性の変化に合わせて職場配置や仕事の内容を変えるようにしています。例えば、年齢とともに適応できなくなり「やめたい」と言う場合もあります。その時は、本人と話し合い、本人の適性に合った作業づくりを進めます。この際、職場と家庭で目標を持った生活をするのが大切と考え、保護者(親など)ともよく話し合い進めています。

障がい者雇用の課題としては、現在の5名の雇用継続を重視するとともに、将来の仕事を作ることです。付加価値が高く、障がいのある人が担える仕事を創造できれば良いと考えています。

## 【Nさんに聞きました】

17 年目になります。実習を経て、特別支援学校卒業とともに入社しました。

緊張すると言葉が出ずコミュニケーションが苦手で、一人で黙々とするタイプでした。先輩が手本を示して背中を押したりして、一緒に話せる雰囲気を作ってくれました。後輩には同じようにしています。

最初の頃、ご飯を混ぜるのが大変で2週間ほど苦労しました。その時は、周りの人に教えてもらうようにして、自分なりの工夫も加えてできるようになりました。

学生時代は長距離を走っていました。今も休みは 30 キロ位走ったり、買い物もランニングで行きます。趣味の家庭菜園でトマトやキュウリを作っています。家では、両親が体調不良なので、ご飯も作っています。



令和3年4月取材